

うちなだ



町章

議会だより

UCHINADA

Vol. 97

平成21年〔2009〕
4月23日発行



放課後は仲良くキャッチボール 向粟崎運動公園

議長に**能村憲治**氏 を選出

②

金沢医科大学病院で病児保育へ

④

新たに出航する「海賊船」

⑪

いっぱん質問 - 10人が登壇 -

⑫

『恋人の聖地』に認定 内灘海岸とサンセットブリッジ

⑳

石川県内灘町議会

議長に

能村 憲治氏を選出



3月18日の本会議最終日に、渡辺旺議長が辞職したことに伴い、選挙を行った結果、新議長に能村憲治氏が選ばれました。

能村憲治議長のプロフィール

議員活動歴 平成15年4月初当選。現在2期。文教福祉常任委員長、決算特別委員長、議会運営委員等を歴任。

家族 妻と二人暮らし
趣味 凧づくり、将棋
信条 適時適切な判断

能村憲治氏は、議長就任に伴い、議会運営委員、文教福祉常任委員長、広報対策特別委員等を辞任しました。新しい人事を紹介します。



生田 勇人氏

広報対策特別委員に



北川 悦子氏

議会運営委員・文教福祉常任委員長に

3月
定例議会
6日～18日

施政

方針



八十出町長

誰もが、いつでも、安心して安全・快適に暮らせる「暮らしやすさナンバーワンへ協働で誇りのもてる、まちづくり」に向け、7つの重要施策を優先に取り組みます。

①まちづくり基本条例

住民本位の「まちづくり基本条例」をつくります。
(一般質問に関連記事)

②安心安全のまちづくり

地域防災計画の見直し、住宅の耐震化を促進するほか、向陽台保育園、鶴が丘乳児保育園の耐震化に助成します。

③健やかで安心できる子育て・福祉の充実

妊婦の一般健康診査を年14回に拡大、病児保育の開始、インフルエンザ予防接種やPET検診への助成、介護保険料基準月額を4,500円に引き下げます。

④人を育てる確かな教育の充実

「幼・保・小連携推進事業」の実施、小中学生の情報モラル教育、大根布小学校の増築を実施します。

⑤定住促進と都市機能の充実

定住促進対策として奨励金の交付、高耐久性部材を使用した海賊船の再建、個人住宅地の雨水地下浸透施設等の設置に助成します。

⑥低炭素社会を目指した環境づくり

地球温暖化対策地域推進計画の策定、古紙類の戸別回収、大型店のレジ袋廃止に向けた啓発・普及の促進、小型風力や燃料電池等のエコエネルギーの普及・研究、河北潟の水質浄化に産・学・官の協働で取り組みます。

⑦地域資源の特性を活かした元気の創出

河北潟干拓地を背景とした新たな農業振興と育成、内灘産低農薬米の学校給食使用、サンセットカードで町税が納められるなど、地域経済の活性化を進めます。

平成21年3月定例会は、3月6日から18日まで開催されました。町長提出議案は、20年度補正予算10件、21年度予算8件のほか、条例15件、公共施設の管理委託など42件で、慎重に審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。一般質問は10人の議員が登壇し、町政全般にわたり議論を展開しました。



暖かい陽気のなかで外遊び（大根布保育所）

~7つの基本施策を優先に~

総額

136億

4,137万円

平成21年度予算

平成21年度予算は、一般会計74億9000万円に、6つの特別会計と水道事業会計を合わせて総額136億4137万円（前年度比8・5%減）となりました。
財源不足を補うため、町の基金（貯金）から、3億3459万円を取り崩しており、平成21年度末の一般会計基金残高は、10億2663万円となる見込みです。
(4〜7頁に関連記事)

をピックアップ

地元低農薬米の
提供に
35万円

米飯給食の米を内灘産低農薬米に切り替え、生産者の顔が見える安心・安全な食材の供給を進めます。



おいしい学校給食（清湖小学校）

病児保育に
1244万円

金沢医科大学病院内で病児保育を開始する準備費用の一部と運営費を助成し、子育て支援を充実します。



白帆台保育園の病児保育

太陽光発電システム
の設置に助成
140万円

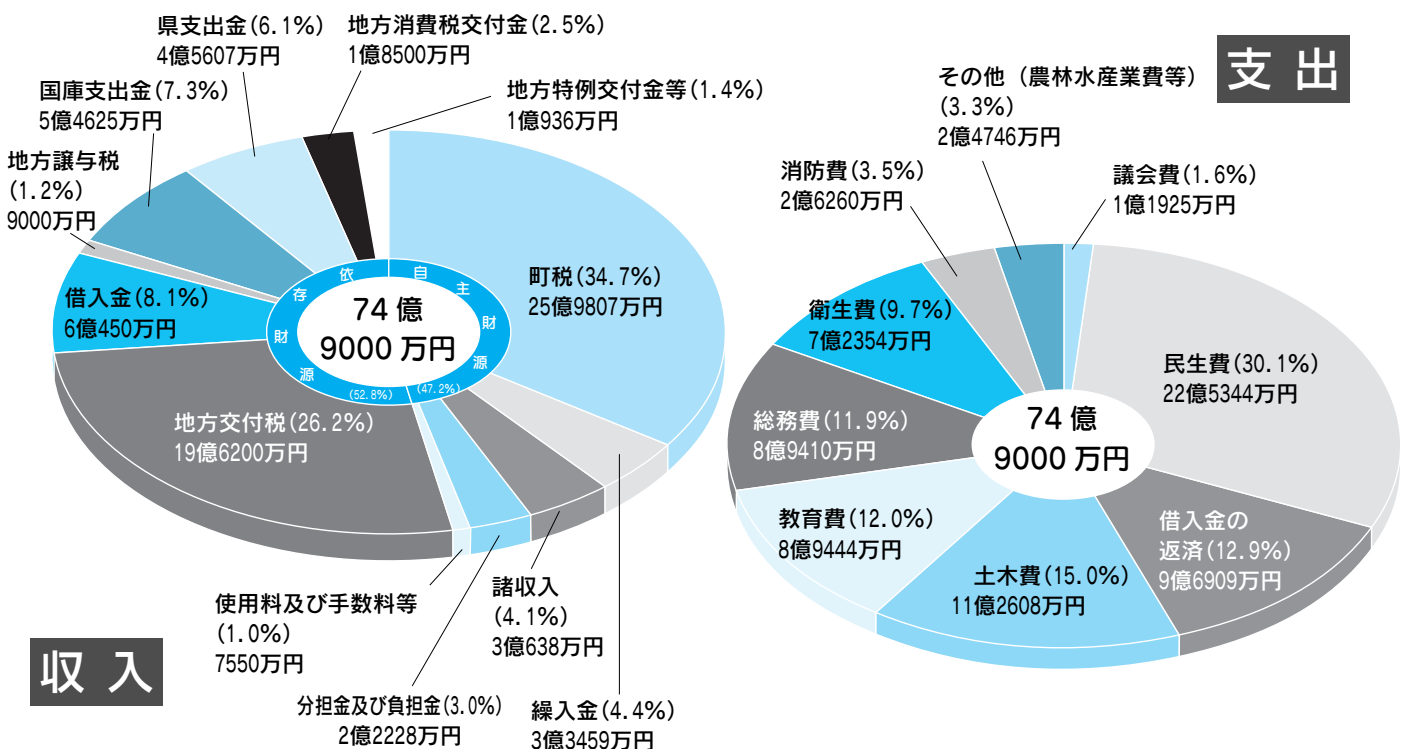
地球温暖化防止のため、住宅用太陽光発電システムの設置補助が拡充されます。上限を4kwとし、1kwあたりの補助が7万円になります。



太陽光発電システムを設置した住宅

平成21年度 一般会計

74億9,000万円

 (全員賛成)


その他の新規事業

まちづくり基本条例に 133万円

住民投票制度も含めた条例づくりの準備です。

地域防災計画の見直し 590万円

災害時の要援護者支援対策を含め、大幅な見直しとなります。

耐震改修に補助金 166万円

向陽台保育園と鶴が丘乳児保育園の建物耐震化に助成します。

妊婦の一般健康診査の充実 1,918万円

妊婦の一般健康診査の助成が5回から14回に増えます。

ライトアップの改修に 600万円

サンセットブリッジをライトアップするオートカラーチェンジャー30台の修理を行います。

大根布小学校増築工事 8,054万円

白帆台地区の児童数の増加、少人数学級の対応に、大根布小学校の職員室と普通教室を2部屋増築します。

地球温暖化対策地域推進計画に 100万円

内灘町の自然的・社会的な温室ガス排出量や基礎データを算出し、今後2年間で総合的な地球温暖化対策地域推進計画をつくります。

古紙類の各戸収集がスタート 798万円

従来のごみ収集に加え、4月から新たに新聞紙、ダンボール、雑誌等の古紙類の戸別回収が毎月1回行われます。

レジ袋の有料化へ 44万円

町内大型店でのレジ袋の無料化廃止に向けた啓発・普及を促進します。

ポイントカード推進事業 220万円

町税や水道料金を役場で納付する場合に限り、満点のサンセットカードは、500円の金券として使用できます。

「あぐりらいふ構想」に 200万円

自然循環型まちづくりとして、「い」、「の」、「ち」の3つをコンセプトに、「河北潟周辺地域のあぐりらいふ構想」をつくります。

(15頁に関連記事)

木造住宅の耐震改修に助成 560万円

昭和56年以前に建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、基準に満たない住宅の改修工事が対象になります。

住宅地域は最高50万円、緊急輸送道路に面した重点地域は最高70万円の補助となります。

環境施策の専門として新設された環境政策課



新規事業

雨水浸透施設等の

設置に助成

100万円

住宅地に、雨水を地下に浸透させる施設等を設置した場合に助成が受けられます。

雨水浸透施設は最高で3万5000円、浄化槽を転用した雨水貯留施設は最高8万円、それ以外の雨水貯留施設は最高2万5000円です。

雨水の流出量を抑制させることで、地下水の保全や浸水被害の軽減に効果が期待されます。



タンクに溜めた雨水は庭の散水等に利用できます

埼玉県戸田市役所に設置されている雨水貯留槽のサンプル

平成21年度特別会計

総額 61億5,137万円

※1万円未満は切り捨て

	会計名	予算額	前年度比	採決の結果
特別会計	公共下水道事業	13億7,800万円	△17.3%	全員賛成
	新エネルギー事業	3,145万円	△1.4%	//
	国民健康保険	25億9,900万円	1.4%	賛成14、反対1
	老人保健	112万円	△99.6%	//
	後期高齢者医療	1億8,500万円	△2.1%	//
	介護保険	12億750万円	△0.7%	//
	水道事業会計	7億4,930万円	△7.3%	全員賛成
	合計	61億5,137万円	△10.4%	

注) 老人保健制度は、平成20年度から後期高齢者医療制度へ移行しており、22年度まで精算等の業務が残ります。21年度は給付費等の精算費を予算化したため、前年度比99.6%の減となりました。

例 条



特別養護老人ホーム「夕陽ヶ丘苑」

介護保険基準額

4000円減

国保税は世帯で

12000円増

介護保険料の基準額は、平成21年度より、月額49000円から45000円に引き下げられます。介護保険料の急激な上昇の抑制や事務費などの財源として、国から1204万円の特例交付金が町に交付されました。さらに交付金を財源として、平成21年度は月額基準額45000円から124万円の減、平成22年度は62万円の減額となります。

(全員賛成)

(賛成14人、反対1人)

霊園・土地区画整理事業は一般会計へ

霊園・土地区画整理事業の両特別会計は、消費税の節税を考慮に入れて、平成21年度から一般会計へ移行します。

(賛成14人、反対1人)

「福祉センター」

宿泊と食堂を廃止

4月から福祉センターの宿泊と食堂部門は営業を廃止します。

また、「展望レストラン」の営業時間は、午前11時から午後7時までとなります。

(全員賛成)



リニューアルオープンした「展望レストラン」

平成20年度一般会計補正予算 4億円超の大型補正

平成20年度一般会計は、4億5068万円の大型補正となり、総額91億5175万円となりました。

(全員賛成)

補正の主なものは、国の第2次補正予算に伴うもので、定額給付金4億2000万円、定住促進奨励金3000万円、消防ポンプ自動車2619万円等です。

特別会計、水道事業会計は、全員賛成で各種事業の確定と実績見込みによる経費の増減などの補正を可決しました。

会計名	補正額	補正後の予算総額	
一般会計	4億5,068万円	91億5,175万円	
特別会計	公共下水道事業	2,400万円	16億3,860万円
	霊園事業	3万円	3,995万円
	土地区画整理事業	849万円	4,101万円
	新エネルギー事業	-	3,190万円
	国民健康保険	210万円	25億8,825万円
	老人保健	8,906万円	2億2,512万円
	後期高齢者医療	64万円	1億7,551万円
介護保険	4,289万円	11億9,695万円	
水道事業会計	△109万円	8億 211万円	
合計	6億1,680万円	158億9,115万円	

公共施設の 「指定管理」(全員賛成)

【指定管理者】NPO法人スポーツクラブ
プラッツ内灘

【期 間】平成21年4月1日から
22年3月31日まで(1年間)

【施設名】総合体育館、総合グラウンド、
武道館、弓道場、向粟崎体育館、勤労
者体育センター など

【指定管理者】株式会社 仁 清

【期 間】平成21年4月1日から
26年3月31日まで(5年間)

【施設名】サイクリングターミナル軽食堂

【指定管理者】(財)内灘町公共施設等

管理公社

【期 間】平成21年4月1日から
22年3月31日まで(1年間)

【施設名】福祉センター、歴史民俗資料館、
サイクリングターミナル(軽食堂除く)、
惜亭(明治初期の民家)、自在庵(茶
室)、温水プール、テニスコート、野
球場 など



惜亭(左)と歴史民俗資料館(右)

西荒屋小の耐震化

工事がスタート

西荒屋小学校の耐震補強・大規模改修工事は、制限付き一般競争入札の結果、2億5515万円で契約しました。

学校教育施設の工事については、工期の延長やトラブルを避けるためにも、リスクを分散する形での入札制度や契約が必要という意見も出ました。今回の工事は、夏休みから集中して行われ、2学期からは耐震補強された



西荒屋小学校

校舎で授業を始める予定です。
(賛成12人、反対3人)

2路線を町道認定

蓮湖渚公園の整備に合わせてつくられた大根布108号線、向粟崎地区街なみ整備として、計画されたアカシア向粟崎67号線の2路線を町道に認定しました。(全員賛成)



向粟崎地区街なみ整備の計画道路



整備された蓮湖渚公園の沿道

町の貯金と借金 (平成20年度末)

基金(貯金)の残高		地方債(借金)の残高	
財政調整基金	5億2,371万円	総務関連事業債	9億6,253万円
公用、公共用施設整備基金	2億6,350万円	民生関連事業債	3億1,570万円
義務教育施設整備基金	1億4,181万円	衛生関連事業債	7,280万円
(仮称)高齢者いきいき健康センター整備基金	1億 568万円	土木関連事業債	25億3,719万円
土地開発基金	1億 175万円	教育関連事業債	22億4,190万円
その他の基金	1億5,466万円	臨時財政対策債	23億1,481万円
一般会計の小計	12億9,111万円	その他の町債	8億1,234万円
町民1人あたり	48,320円	一般会計町債の計	92億5,727万円
特別会計の基金	6,060万円	町民1人あたり	346,480円
		特別会計の町債	97億8,582万円
		水道事業の町債	9億8,736万円

※平成21年3月末の人口 26,718人

審査しました あなたの**請願**

継続審査

(賛成 12 人、反対 3 人)

「気候保護法(仮称)」の制定を求める

◎請願者

内灘町字鶴ヶ丘 4-1-214

新日本婦人の会

内灘支部長

宮本喜久子

◎紹介議員 北川 悦子

◎趣旨

日本の温室効果ガスの排出量が伸び続ける一方で、気候変動による悪影響が世界各地で顕著になっている。

気候の安定化に向け日本が確実に低炭素社会を構築するには、温室効果ガス削減の中・長期的削減数値目標を設定し、達成するための政策を包括的、統合的に導入・策定し、実施していく法律が必要である。

継続審査

(賛成 12 人、反対 3 人)

物価に見合う年金引き上げを求める

◎請願者

内灘町字鶴ヶ丘 4-1-116

全日本年金者組合内灘支部

支部執行委員長

北川 進

◎紹介議員 北川 悦子

◎趣旨

生活必需品の物価高騰に見合う、年金の引き上げを行うこと。また、無年金者・低年金者には、当面「生活支援金」として8万円に達する額を上乗せして支給すること。

継続審査

(賛成 10 人、反対 5 人)

新エネルギー低炭化水素酸素ガスを燃料として使用する新技術における研究成果について、国での早急な検証、精査と認証を求める

◎請願者

埼玉県入間郡越生町越生東 3-14-11

新エネルギー研究所

高山 伸雄

内灘町字大根布 3-37

広瀬 雅人

◎紹介議員 藤井 良信

◎趣旨

新エネルギー低炭化水素酸素ガスを燃料として使用する新技術システムの研究成果に、国の早急な検証、精査、認証を実施すること。

また、国主導で研究開発の推進と研究所施設を整備するなど。



水を主原料とした水素と化石燃料を混合させる燃料システム(温水プール)

あなたの声を 国へ届けました！

採択 (全員賛成)

「緑の社会」への構造改革を求める



びわ湖環境ビジネスメッセに展示された電気自動車

◎**請願者**
内灘町向栗崎 1-372
公明党内灘支部青年局 喜多 謙一

◎**紹介議員**
藤井 良信

- ◎**趣旨**
1. 日本の環境技術を駆使した環境産業を活性化、太陽光発電の政府導入量目標の倍増を検討すること。
 2. 電気自動車など次世代自動車の普及を急ぐとともに、省エネ住宅等の建設促進や環境モデル都市の拡大など、国の支援を拡充すること。
 3. 温室効果ガス3.8%の削減に向け、林業と建設業の協働で森林整備を進めるとともに、関連業種で新たな雇用を創出することなど。

採択 (全員賛成)

暮らせる年金の実現を求める

◎**請願者**
内灘町字鶴ヶ丘 5-1-336
公明党内灘支部女性局 田中 妙美

◎**紹介議員**
恩道 正博、藤井 良信、川口 正己

- ◎**趣旨**
1. 基礎年金の国庫負担割合を早期に2分の1へ引き上げること。
 2. 基礎年金の加算制度の創設、受給資格期間の短縮、追納期間の延長など無年金・低年金対策を拡充すること。
 3. 高齢者の就労を促進し所得向上に資するよう在職老齢年金制度の見直しを行うことなど。



福祉センターの「極楽殿」で楽しく

意見書を提出

本会議で採択した請願の趣旨に沿った意見書を、内閣総理大臣をはじめ関係大臣に提出し、その実現を要請しました。

内閣総理大臣、環境大臣
衆議院議長、参議院議長

提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣
衆議院議長、参議院議長



役場町民ホールで行われた人形劇

総務常任委員会

定住人口の増加策は

Q 内灘町の合計特殊出生率は、県平均の1・4を下回り、1・22となつているが、定住人口の増加策が必要でないか。

最高50万円の
定住奨励金

A 町外からの転入者を呼び込み、定住人口の増加、流出抑止対策は、最優先課題のひとつと考えている。

白帆台に住宅を建て、居住された世帯に最高50万円、白帆台以外でも最高30万円の定住奨励金を交付する。

飲食可能な利用を

考えてはどうか

Q 地区公民館、町文化会館、役場町民ホールなど公共施設の多目的な利用を促進するため、飲食を伴う親睦会等の使用を許可してはどうか。

文化会館と町民

ホールは検討課題に

A 地区公民館は、利用実態から規制をせざるを得ないが、文化会館や町民ホールは、今後の検討課題としたい。

文教福祉常任委員会

健康維持に

町の助成は

Q PET検査は、がんの早期発見に優れており、今年度から費用の一部を助成することになっているが、費用はどれくらいか。また、インフルエンザ予防接種の対象者は。

予防対策に

新たな助成を開始

A PETの検査費約9万円に対して、1万円を助成することにした。インフルエンザ予防接種は、1歳から中学3年生までを対象に、千円を助成する。

福祉センター本館を

取り壊すのか

Q 福祉センター本館は、築35年が経過しており、耐震の関係で宿泊を廃止することになったが、建物を取り壊す時期は決まっているのか。

周辺の整備計画に

あわせて考える

A 取り壊しの時期は、隣接する総合公園等を含めた周辺の整備計画をつくる過程で、決めていきたい。宿泊と食堂は、3月で営業を廃止したが、「ほのぼの湯」は従来どおり営業する。



福祉センター本館の階段部分に生じているひび割れ

産業建設常任委員会

「海賊船」の再建計画

はあるのか

今年度中に新たに

出航させたい

「プレミアム商品券」

を発売するのか

Q 総合公園の大型船型

遊具「海賊船」は、平成8年に設置されてから、多くの家族連れや子供たちが訪れ賑わいをみせていた。

昨年5月に木材の腐食を理由に使用中止にしたが、再建計画はあるのか。

A 国からバリアフリー

化緊急支援事業補助を受け、今年度中に新たに建造したいと考えている。

通常の木材に比べて腐食にも強いハードウッド等の高耐久性部材を用いることで、維持管理費の節約にもなる。

総合公園に海賊船が再び出航すれば、町の魅力がさらにアップする。

Q 定額給付金が支給されることに伴い、内灘町

でも「プレミアム商品券」を発売するのか。

6000セットを

販売する

A 町商工会が5月10日、役場1階で発売する予定となっている。

千円券11枚つづりのセットを1万円で購入し、6000セットを用意し、購入できるのは町民のみで、1人3セットまでとなっている。

町の商業が活性化することを期待している。



たくさんの子供たちが遊んでいた頃の「海賊船」

環境開発対策特別委員会

中国庭園で行う

実験の目的は

Q 学園緑地内にある中国庭園で、池の水を浄化する実験を行う目的は何か。

河北潟の水質浄化に

つなげたい

A 蓮湖渚公園に整備予定の「ビオトープ」の予備実験として、水質浄化の可能性を検討しているもの。

マイクログバブルという非常に細かい空気の泡を水中に送り込み、微生物の活動を活発にさせ水質を浄化させる仕組みで、石川高専と協働で取り組んでいる。

産・学・官の協働で、かつて「清湖」と呼ばれた河北潟の復元を目指したい。



中国庭園（ハマナス公民館の向）で水質浄化の実験

用語解説

ビオトープとは生き物(Bio)がありのままに生息活動する場所(Top)という

意味が合成されたドイツ語です。

本来は自然環境そのものがビオトープですが、生き物が住みにくい都市部などで、人口的に再構成された自然環境をとくにビオトープと言うようです。

10人が登壇



生田 勇人 議員

内灘フルインター計画の進捗状況は

ルート、構造案を検討中 都市整備部長

生田 白帆台の住宅地の売れ行きと金沢市へのアクセス向上は、町の重要施策である定住促進に大きくリンクしている。能登有料道路内灘フルインターチェンジ（IC）の設置に向け、どのような計画をしているのか。

都市整備部長 フルICの設置は、能登有料道路と白帆台を結び、北部地区の交通アクセスの充実と定住促進を図るため検討している。計画案は金沢方向からの出入り口を白帆台付近に新設し、内灘料金所とあわせてフルインター機能を持たせる計画で現在いくつかのルート、構造案を検討している。

生田 かほく市と同様のインターとした場合、設置費の負担割合はどうなのか。

都市整備部長 かほく市は全額地元負担で、内灘ICも町の全額負担と県から聞いている。

生田 設置費の負担軽減を含め、町は今後どのように取り組んで行くのか。

都市整備部長 北部開発促進協議会、北部地区土地画整理組合と連携して地元負担の軽減を含め強く要望していく。

生田 北部地区の土地利用に関する整備手法はどう考えているのか。

都市整備部長 農あるまちづくりが北部地区の魅力づくりの整備手法と考えており、ほ場整備事業の活用も有効な手段。

生田 20年度に行った北部地区調査に基づく今後の方針を問う。

都市整備部長 町都市計画マスタープランに取り入れ、良好な居住環境、農業・観光・自然と調和したまちづくりを目指す。

生田 内灘特有の農作物、漁業水産物、酪農や、環境条件を活かした商業施設を開設する考えはないか。

都市整備部長 農業・観光・商業を組み合わせ、北部地区活性化の有効な方策として検討していく。

温度差・距離感の認識はあるか

生田 町は町民参加型行政として、各種委員会の委員を公募している。

公募された町民は、行政サイドから見て多勢に無勢で、行政主導本位となり、町の見識と町民の認識に温度差があると感ずる。

今後どう町民、行政、議会との距離感を縮めていくのか。

まちづくり

基本条例を提案

町長 行政と住民、住民の代表である議員が同じテーブルに着き、同じ政策課題に英知を集める手法を考えて、まちづくり基本条例の策定を提案した。

計画の段階から共に学び共に創り上げていく形態により町民、議会、行政の距離が大きく縮まると考えている。



権現森を通過する能登有料道路

いっばん

質問

全問掲載



能村 憲治 議員

緊縮予算の中、ライトアップは必要か

魅力あるまちづくりに必要な 町長

能村 平成21年度予算は、前年比マイナス8・7%の緊縮予算となった。各事業に対する補助金の絞り込みが多い中、内灘大橋の維持管理費に100万円の予算を計上し、ライトアップの修理費全額を町負担としているが、再度、県に働きかけ協議した結果はどうなったのか。

能村 オートカラーチェンジャー60台のうち40台を修理して、ランドマーク機能を果たせるのか。

能村 町長2期目のマニフェストに掲げた「まちづくり基本条例」とはどのようなものか。

町長 ライトアップは、魅力あるまちづくりに欠くことができない。

町長 行政、議会、町民、地域の役割を明確にして、行政サービスの向上を町民と協働してつくるもの。

能村 修繕後の維持管理費の町負担は年間どれくらいなのか。

能村 基本条例は、住民福祉の向上にどのように影響を持つのか。

町長 内灘大橋ライトアップの費用負担は、管理協定上、維持修繕は町、全面改修は県と町が協議することになっている。今回の修繕は多額の費用を要するため、県に特段の配慮を求めたが、県も経済的に厳しい状況だった。

町長 維持管理は点検費用も含めて年間約500万円と予測している。

町長 具体的な影響は、策定の過程で示していくことになる。

能村 教養と文化の向上、健康と福祉の増進、親睦と融和を図る大切な事業の補助金の削減は残念。

能村 今後、策定に向けてどのように取り組んでいくのか。

町長 町民の意見を集約し、2年から3年の時間をかけてつくり上げたい。

町長 急激な削減を緩和するため実績報告などを審査し、予算を定めた。

町長 町民の意見を集約し、2年から3年の時間をかけてつくり上げたい。



金沢医科大学病院から見た内灘大橋（サンセットブリッジ）

非正規職員の

待遇改善を

雇用条件の検討が

必要と考える

能村 町嘱託職員は、再任の繰り返しで、正規職員と変わらない業務を行う職員もいると聞く。

総務部長 集中改革プランで職員定数の目標値を定め、職員数の削減と給与の適正化に努めている。

正職員と待遇面で大きな格差を生じ、賃金、退職金、身分保証等が大きく違い、改善が必要。

正職員と嘱託職員では身分、処遇に差があることは事実であり、嘱託職員の意欲の高揚を図るため、雇用形態、雇用条件の検討が必要と考えている。

近年、他自治体で、非正規雇用の見直しが進められているが、当町でも、昇給制度導入を含め、抜本的に見直す考えはないか。

また、正規職員と同様に研修の充実を図ってほしい。



川口 正己 議員

デイスポーターの助成を考えよ

助成を前向きに検討する 町長

川口 家庭から出る生ごみの減量化を図るため、多くの自治体では、デイスポーターで粉碎した生ごみを含む排水をバイオ浄化槽などで水の状態にしてから下水道に流す「デイスポーター排水処理システム」を許可している。

このシステムの助成制度を考えてみてはどうか。

町長 当町から排出される生ごみは年間1千トンを超えると推計される。

これを削減し、ごみ処理経費の節減とCO₂の削減を図らなければならぬと考えている。

このシステムは生ごみの減量に効果があると認識しており、県外には補助の事例もあることから、前向きに検討していく。



北海道稚内でのメガソーラー実証実験

メガソーラーを誘致せよ

川口 国内電力会社10社は、2020年までに約30カ所、140メガワットを導入するという**メガソーラー**発電導入計画を発表した。

北陸電力も北陸4カ所でメガソーラーの設置計画を発表し、現在、設置場所の選定をしている。我が町も、誘致計画に手を挙げよ。

可能性を

探っていくきたい

町長 町に誘致できないか、再三、北陸電力と会ったが、北陸の社有地内で建設を予定しているとのことであった。

しかし、エコのまちづくりに向けて他の企業を含め、メガソーラーが誘致できないかどうか、さまざまな可能性を探っていく。

用語解説

メガソーラーとは、1メガワット（1メガワットは、1千キロワット）以上の規模の太陽光発電の総称です。砂漠の4%の面積約65万km²に太陽光パネルを敷き詰めれば、地球上の電力を全てまかなえると言われています。

川口 新型インフルエンザ対策は、県内19市町の中、対策を取っていないのは内灘を含め、5市町なのはなぜか。

健康推進課長 平成21年度に国の計画内容に則し、県や近隣市町並びに医療機関と連携を図り対策を講じていく。

川口 子供たち、高齢いた人たちへの救護体制に対する対策はないのか。

健康推進課長 3月の対策会議で、国が示す内容により対策を講じていく。

川口 「環境政策課」を新設するが、新エネルギー政策はどのようなビジョンで臨むのか。

町長 新エネルギー・省エネルギービジョンを今年度中に策定し、「エコのまち」を目指す。



藤井 良信 議員

中国大連市旅順と友好交流を 大学など民間交流を支援する 町長

藤井 昨年、大連大学から趙重平元学長を代表とする方々が町を表敬訪問した。

今回の友好対話の中で、大連市旅順との友好都市交流、生涯学習制度などの社会教育の場を通じての交流の申し出もあったが、それに対する町の取り組みは。

町長 教育やイベント、子供たちの友好事業など、今後の交流に多くの具体的提言があった。

今後は友好都市提携をしている中国・呉江市との関係も尊重しながら、大学等民間交流を支援する立場で臨んでいく。

藤井 大連大学との連携可能な大学間交流協定の推進は。

町長 大連大学と金沢医科大学、石川高専など大学間交流の連携推進をしている。

藤井 表敬視察として町長および議員団を大連市へ派遣すべきではないか。

町長 今後の交流の推移を見極めながら検討を重ねていきたい。

藤井 環境整備を行い、アカシアロマンチック祭を町の一大観光事業とせよ。

副町長 文化協会等と話し合い、一大イベントとして成長させたい。



昨年5月のアカシアロマンチック祭

「めぐりライフプロジェクト」構想とは

藤井 環境省は、環境を切り口にした経済活性化対策から日本版グリーン・ニューデールの骨格を掲げ、3月中にも成案をまとめる。

内灘版グリーンニューデール構想とも言える「内灘めぐりライフプロジェクト」のテーマ構想案から、基本的な考え方の趣旨と概要は何か。

自然循環型

まちづくり

副町長 自然循環型まちづくりの実現のため、基本的な概念を「癒(医)・「農」・「知」とした。「癒(医)」は、食育を通じて未病、予防医学へ。

「農」は、酪農を含めた有機農業を。「知」は、町民および金沢医科大学などの協働より、農業自体の価値を高めたい。

藤井 地域連携協議会の設置など組織構成をどのように考えているか。

副町長 町民主体の推進組織を設立し、町にふさわしい組織活動を進める。

藤井 開発研究の事業委託外注は、実施前の現場の声を優先した検討と説明を十分に行うべきだ。

副町長 有機栽培による河北潟干拓地に最適な栽培の確立を目指す。

藤井 自然循環型の農産物加工品開発研究と販路開拓の事業委託の内容は。

副町長 酪農と有機農業を組み合わせた新商品開発と加工、商品販売の仕組みを構築したい。

藤井 「まちづくりは人づくり」の観点から、構想的計画策定は地域住民がつくるべきだ。

副町長 農業、酪農の方々が中心に動いていく形で進めていきたい。



八田外茂男 議員

監査委員の意見を聞く

信頼性の向上に努めている 代表監査委員

八田 平成19年度監査委員の意見書に「補助金の交付に当たっては、団体等の活動状況、資金状況等も勘案し、公益上の必要性、補助効果の評価を確認しながら、効果的で適正な執行に努めていただきたい」と意見を付している。

この意見書の考え方を詳しく聞きたい。

代表監査委員 補助金 については、決算審査意見書に記載のとおりである。監査委員は、常に公正不偏の立場で監査を行い、今後も権能をみずから制限、縮小することなく、積極的に監査を行い、町行財政改革への貢献、信頼性の向上に努めていく。



みんなで協力した「さわやか海浜クリーン作戦」

八田 21年度予算は、単年度収支で3億3500万円の赤字となるが、この予算編成を町長はどう考えているのか。

町長 行財政改革をさらに推進し、財政健全化を目指す。完全黒字化を目指しているのか。

基本条例の

考え方を問う

八田 「まちづくり基本条例」は町民、行政、議会、それぞれの立場で役割がある。

地方自治における議会の立場は大変重要であり、また十分理解をされていると思うが、この三者の関係をどのように考えるか。

町にふさわしい 条例をつくる

町長 この条例は町民、議会と一緒に論議を重ねてつくるものであり、その中で決まっていくなかで、私自身が決めるものではない。

議会も積極的に論議に参加してもらい、内灘町にふさわしい条例をつくりたい。

八田 町民が参画して「まちづくり」を進めるには、情報の共有と公開が必要不可欠でないか。

町長 個人情報を除くすべての情報を町民に公開し、協働のまちづくりを目指す。

八田 行財政改革推進委員会での議論や事業評価等の情報公開を進めよ。

町長 委員会で、徹底した議論をしてもらい、事業評価をしていく。

八田 21年度予算でイベント全体の見直しは含まれているのか。

町長 難しいがこれからの行財政改革を考え、イベントの見直しも検討する。



女性議会の継続を

形式・内容を検討していく

総務部長

水口 裕子 議員



今年3月に開かれた「チャレンジ女性議会」

水口 3月に開催された女性議会での提案の経過を知るためと、女性たちの**エンパワメント**を継続していくため、女性議会を続けよ。

総務部長 21年度は、それぞれのグループが提言した課題の実現を目指す。エンパワメント講座は、2、3年に一度開催したい。

今後、女性議会形式にするか、会社員や若者も参加するかなど、検討する。

水口 ボランティアコーナー、ダイネーターの資質を持つ社会福祉士の増員と、待遇の改善を求める。

水口 イベントに保育を準備し、誰でも参加できる環境を整えよ。

町民生活課参事 今後、幅広く進め、周知していく。

社協を文化会館へ 移転できないか

水口 社会福祉協議会は、保健センター内にあり、手狭となっている。

保健センターも健康の拠点として、しっかりと機能できるスペースが必要。

シルバー人材センターの移転を機に、社協を文化会館へ移動できないか。

施設の活用方法を 慎重に検討

町民福祉部長

生涯学習施設である文化会館の機能が保てるか、また、社協の福祉用具の保管場所確保など、問題は多い。両施設の活用方法を慎重に検討する。

水口 生ごみ減量方法の説明と周知を。

町民福祉部長 生ごみの堆肥化を推進するなど、町民への啓発を行っている。

水口 町から「生ごみ一絞り運動」を始めよ。

町民福祉部長 積極的に推奨していく。

水口 陶磁器の再利用はどうなったのか、再度問う。

町民福祉部長 未使用のものは常設リサイクルステーションで分別収集。

水口 完全米飯給食の取り組みが進まない原因は。

教育長 現段階では、米飯3回、パン2回が最善だと考えている。

水口 地元産使用の玄米給食の日を設定せよ。

学校教育課長 炊飯委託先に設備がなく、難しい。

水口 町の財政調整基金は、5億円を切る見込みだが、セーフティネットは大丈夫か。

町長 セーフティネットを堅守し、財政の健全化を図る。

用語解説

エンパワメント

女性の参加の機会を自ら獲得すること、意思決定過程への参加を定義でき、自ら力をつけることができます。



清水 文雄 議員

町民参加のまちづくり予算は

自治意識を高めたい 町長

清水 町長公約の柱である町民参加のまちづくりは、新年度予算のどの部分に盛り込まれているのか。

シーリング（削減）をかけ数字をそろえる予算編成でなく、メリハリのきかしたものが必要でないか。

町長 「町民参加」、「情報公開」、「現場主義」を基本姿勢に町政運営を行い、まちづくり基本条例の策定を目指している。

住民がお互いにまちづくりを議論し合い、自治意識の醸成を図っていく。必ずしも予算を伴うものでなく、参画しやすいよう取り組んでいく。

清水 公民館管理運営費等のマイナス10%シーリング（削減）はなぜか。

町長 町会、公民館を初め町が助成する各種補助団体も、協働のパートナーとして町政に参画してほしい。

清水 新聞等の古紙類の月1回各戸収集は、過剰サービスにつながるのか。

町民福祉部長 リサイクルできる紙類の資源化を増やす方策として各戸収集を行いたい。

清水 戸別方式をステップション方式にした場合の委託料はいくらか。

町民福祉部長 かほく市や津幡町の例から、経費はさほど変わらない。

公営住宅を建設せよ

清水 県住宅供給公社に對し、若者が住みたくなる公営住宅を、建設してもらい、定住促進策を県へ働きかける考えはないか。

若い世代の定住促進を図る

都市整備部長 若者向けの公営住宅建設は、活気に満ちあふれた地域社会を築く方策と考える。全般的な定住促進策として、定住促進奨励金制度の創設、太陽光発電設置補助金の増額、若い世代へのさらなる子育て支援策等の施策を展開し、定住促進を図っていく。

清水 町民の離職、失業の実態は、現状でどのように把握、認識しているのか。

都市整備部長 社会経済情勢や国の動向を見守り対応に努めたい。

清水 失業・雇用の相談窓口を開設せよ。

都市整備部長 県やハローワークとの連携を密にし、相談に対応したい。

清水 人事の募集、採用は総務部が一括して管理すべきではないか。

総務課参事 関係部署と協議し、効率的、効果的な人事管理に努めたい。

清水 町長は定額給付金を受け取るのか、受け取らないのか。

町長 給付金を受け取り、すみやかに支給額以上を町内で使いたい。



鶴ヶ丘3丁目の県営住宅



恩道 正博 議員

新年度予算の施策と決意を問う

将来の道筋となる課題に投資 町長

恩道 アメリカ発の世界的大不況は、我が国経済を直撃し景気の後退、更に地方財政も緊縮している。

町も行財政改革を進め、かつ基金を取り崩しての厳しい予算編成が続いているなかで、町長が2期目に掲げた「改革から創造へ」「暮らしやすさナンバーワン」を目指して、新年度予算にかける施策と決意を問う。

町長 将来への道筋となる町の重要課題に投資し、町民の元気創出事業に傾注したメリハリのある予算配分とした。

重要施策のうち、白帆台地区の定住促進、地域資源を活かした元気の創出、子育て・福祉・教育の充実、低炭素社会を目指す環境づくりを展開すると共に住民参画のまちづくり基本条例策定を進める。

恩道 まちづくり基本条例に、先人たちが築いてきた町の自然・歴史・文化を生かす必要がある。

町長 まちづくり基本条例は多くの町民が参加し、2年から3年かけてつくっていききたい。

普通教室2部屋と職員室が増築されます



大根布小学校の入学式

料金の減免制度を進めよ

恩道 障害者自立支援法は、障害者が地域で安心して普通に暮らせることや自立共生の社会を実現することを基本理念としている。

障害者や付添人が町の公共施設を利用する際、料金の減免処置や割引制度を盛り込んだ条例の改正が必要ではないか。

早期に実施したい

町民福祉部長 福祉センター（ほのぼの湯）は、早期に条例改正を行い精神障害者手帳交付者にも入館料の免除を実施したい。

その他、町の公共施設を利用する際、利用料等の減免措置や割引制度の統一的な見直しを検討。また、できる限り公共施設のバリアフリー化の推進に努める。



北川 悦子 議員

総合窓口の開設を急げ

現状の体制で取り組む

都市整備部長

北川 保健センター前の町有地売り払いは、300㎡分の鑑定評価で、全体の評価をしたのはなぜか。

総務部長 土地全体の評価と部分評価に修正率を掛けても、鑑定評価額は同じであるため、部分評価とした。

北川 売却した町有地の周辺住民への説明会は、どう呼びかけをしたのか。

総務部長 取得者に開催を依頼し、周辺住民約80世帯にチラシを配布した。

北川 町有地売却の落札結果が町広報、ホームページに掲載されている。

総務部長 個人情報保護の観点から公開していないが、閲覧希望者には公開をしている。

通学路のトンネル

地下道は明るく

北川 通学路になつているトンネルや地下道は暗く、蛍光灯のカバーが割れ、くもの巣で汚くなっている箇所もある。

子供たちには、トンネルや地下道は怖いところなので、小学生が壁に絵を書くなど明るくし、管理補修、清掃は定期的の実施せよ。

維持管理に努める

都市整備部長 道路パトロール等により異常箇所の早期発見、補修に努めている。

今後、地下道等の施設を良好な状態に保ち、安全・安心に通行できるように維持管理に努めていく。



霧困気が明るくなった千鳥台と向陽台を結ぶ地下道

北川 霊園と土地区画整理事業を特別会計から一般会計にするのはなぜか。

総務部長 消費税の節税を考慮し、新年度から一般会計に組み入れた。

北川 町民の立場からすると税金逃れに見えるのではないか。

総務部長 合理的、合法的な節税対策と考える。

都市整備部長 町で対応できるものは迅速に対応していく。

専門知識や情報が必要なもののは的確な窓口の紹介に努め、相談に訪れた方や電話相談などがあつた場合は適切に対応したい。

北川 ナルックス駐車場の前の横断歩道橋に屋根をつけてはどうか。

都市整備部長 防犯上や積雪の落下、構造上の問題があり、屋根の設置は困難。

北川 林帯遊歩道のくぼみの修繕の時期について再度問う。

都市整備部長 随時パトロールし、破損の程度を勘案し安全確保に対応する。



中川 達 議員

基金に依存する赤字体質を問う

財政基盤の確立が大切 町長

中川 町は平成15年度より赤字体質の行政運営を余儀なくされている。

平均3億円という毎年毎年の赤字が発生し、21年度においても町の貯金を取り崩し、公共・公用施設用土地の売り払い収入をあてる状況が続いている。

町当局は、赤字体質をどう認識しているのか。また、2年先、3年先の町長の思いは。

町長 単年度収支の赤字解消を目的に、下水道料金の値上げを中心に3億円の財政効果を生む改革を行なった。

しかし、赤字解消は難しく、一層の行財政改革が必要と考える。

限られた歳入に見合う歳出構造に切りかえ、単年度収支を黒字化し、財政基盤の確立が大切な課題だと思っている。



千鳥台防犯自警パトロール隊の活動

企業誘致に本腰を入れよ

中川 企業立地推進事業費127万円を予算計上し、うち55万円が企業誘致の活動費である。

赤字体質を打破するために、商工会と連動して空き店舗、空き地を調査し、1社でも多くの企業に入ってもらい税収の安定を目指すべきでないか。

誘致活動を積極的に進めたい

町長 「企業誘致及び定住促進等推進協議会」で活発な議論や情報交換を重ねている。

研究機関や人材育成関連の組織や施設を誘致してはとの声も出ている。

しかし、町が工場用地を持たない現状を考え、定住促進や交流人口の拡大につながる企業、施設の誘致を進めていきたい。

中川 この55万円の予算でどのような効果が出せるのか。

町長 関連する情報収集とその確実性の確認、直接誘致する行動を積極的に進めていきたい。

中川 ボランティアの意欲が低下しないよう、特段の配慮を検討する考えは。

町民福祉部長 ボランティア活動がしやすい環境づくりに努めたい。

中川 呉江市との友好関連の予算がないが、子供たちの交流は必要なので。

教育長 子供たちの国際感覚をはぐくむ重要性も念頭に、交流を検討したい。

追跡

あいや～
どうなったかいわ～

定例会での一般質問のゆくえ

無料法律相談の実施を

金沢市で実施されている無料法律相談を実施できないか。

【平成19年12月議会、北川 悦子議員】

答 弁

弁護士会と交渉する

町でも実施できるよう、金沢弁護士会と交渉したい。

その後



弁護士相手に法律相談

昨年6月から毎月第4木曜日の午後1時30分から午後4時まで「無料法律相談」を行っています。

役場相談室で開催しており、社会福祉協議会(286-6953)へ事前予約が必要です。

廊下に手すりを設置せよ

図書館を利用する足の不自由な利用者のため、2階エレベーターから図書館入口までスロープとなっている廊下に手すりを設置し、最低限のバリアフリー化を早急を実施せよ。

【平成19年12月議会、清水 文雄議員】

答 弁

早急に設置する

車いすやつえを使った図書館の利用者が増えている。

早急に手すりを設置して、足の不自由な方にも易しく利用できるような施設にしたい。

その後



設置された手すり

平成20年1月、2階エレベーターを降りてから図書館に行く廊下のスロープ部分に手すりが設置された。

突撃!! あなたの声

街かどインタビュー

町会や公民館活動が活発

地域の団結力が町の魅力

向陽台にお住まいの内田進洋さんに突撃インタビューをしました。

子供たちと一緒にサッカーを楽しんでいるそうです。

◆内灘に住んで何年になりますか。

○加賀市に生まれ、白山市に移り、平成14年から内灘町に住んでいます。

◆内灘の魅力や良いところはありますか。

○町内会や公民館活動が活発で、団結力があり大変よい地域です。

◆日頃親しんでいる趣味やスポーツは何ですか。

○現在、町の少年サッカーの指導員をしています。

◆何か町に望むことはありますか。

○町民体育祭のような年齢層の幅広い活動が増えれば、地域密着、活性化につながる気がします。

◆健康を保つため、日頃から気をつけていることを教えてください。

○十分な睡眠と適度な運動です。少しの時間でも、自分の好きなサッカーに打ち込んでいることもプラスになると考えています。

◆議会を傍聴したことがありますか。

○議会の傍聴は、仕事の関係で時間調整が難しく、行けませんが、機会があれば傍聴したいと思っています。

◆最後に、信条としていえる言葉があれば教えてください。

○スポーツ指導に係わっていることもあり、『人には優しく、自分には厳しく』を、いつも心に留めています。

ありがとうございました
ボールを追いかけて、グラウンドを駆けまわる姿に
若さと情熱を感じました。

内田進洋さん



○当時から見れば、コンフォモール内灘やマクドナルド等がオープンし、町の中が、にぎやかになったような気がします。

指導員の資格を取り、まだ2年ですが、子供たちと楽しみながらサッカーをしています。気持ちも若くなり自分のためにもなると言っています。

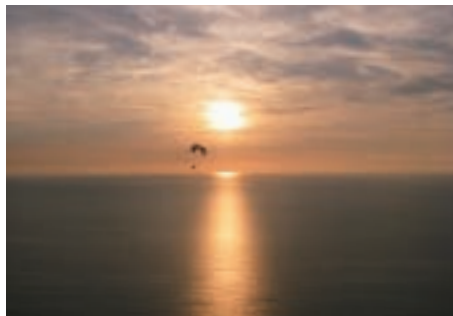
たとえば、地域ごとのキャンプ(野外活動)、各種スポーツ等がいいのでは。



少年サッカーで汗を流す内田さん

『恋人の聖地』に認定

内灘海岸とサンセットブリッジ



内灘海岸から眺めた日本海に沈む夕陽

恋人の聖地は、NPO法人の地域活性化支援センター（静岡市）が地域の活性化・少子化対策を

目的としたプロジェクトです。

全国各地の公共性を有する観光エリアや施設の中から、現在まで78力所が選定されており、若し人々を中心に魅力ある観光情報を提供により、交流人口の増加、幅広い分野での地域活性化、少子化対策の側面支援等の効果が期待されます。

内灘海岸と内灘大橋がラブ&ビーチ／サンセットブリッジ内灘」として、粟津温泉に次いで県内で2例目に認定されたことにより、今後、恋人たちの集客イベントが展開されます。



観光スポットのサンセットブリッジ



平成20年中に内灘町議会を傍聴された方は**285**人です。

3月定例会	77人
6月定例会	72人
9月定例会	73人
12月定例会	63人

議事を傍聴 しませんか

編集 後記

春は卒業、入学など別れと出会いの季節です。ピカピカの一年生を見てみると、子供たちが安心して暮らせ、夢と希望がもてる政治が必要です。ことわざに「千里の行も一歩より始まる」とあります。

最初の一歩がなければ始まり、日々の小さな努力こそが大事を成し遂げる。

今後も町民の皆さまの目線に立った議会だよりの編集を目指します。

〔恩道 正博〕

広報対策特別委員会

- 議長 能村 憲治
- 委員長 川口 正己
- 副委員長 北川 悦子
- 委員 北川 悦子
- 委員 恩道 進
- 委員 生田 正博
- 委員 勇人

町議会Eメールアドレス

gikai@town.uchinada.lg.jp

町ホームページ

http://www.town.uchinada.lg.jp

次の議会は**6月**に開催されます。傍聴の受付は、役場3階のエレベーター横で行なっています。本会議の録画映像は、町ホームページでご覧ください。

議会事務局 TEL 286-6715